

# ナウマン通信



2020年  
8月31日発行  
第15号

大阪市立我孫子南中学校

## ええ子やなあ～～

今日の全校集会でアニメ「サザエさん」のお話をしました。覚えていらっしゃるでしょうか？

もう少し詳しく紹介したいと思います。

「サザエさん」は1946年、今から74年前に4コマ漫画として新聞に掲載されたのが始まりです。その後1969年、今から51年前にアニメ化されテレビでみんなが目にするようになりました。小さな子どもからお年寄りまで広い世代から愛される日本を代表するアニメの一つです。校長先生がこのアニメはすごいなあと思うのは見終わった後にいやな気持ちや腹立たしい気持ちに全くならないということです。何かほっこりとした優しい気持ちになれることが多いです。それはきっと物語の中で汚い言葉や暴力的なシーンが全く出てこないことが理由の一つだと思います。そんな中で昨年たまたま見た放送でこんな話がありました。今日みんなに話したことです。普段あまり登場することのない早川さんのお話です。話はサザエさんとタラちゃんが道を歩いていると道を行つ



たり来たり何度もしながら何かを探しているお兄さんと出会います。そのお兄さんは宅配の仕事中で早川さんの家を探していました。困っているお兄さんにタラちゃんが「僕が案内しますです。」とお兄さんを早川さんの家まで案内します。お兄さんに喜んでもらえ、うれしくなったタラちゃんは「次はどこですか？」と聞きますがお兄さんからは「もう配達するものがないんだよ」と言わわれがっかりして悲しそうにしていました。その様子を見た早川さんが「タラちゃん、私を公園まで案内してくれる？」といいます。タラちゃんは「まかせてくださいです。」と胸を張って早川さんを公園まで案内します。もちろん早川さんは公園までの道順を知っているのは言うまでもありません。そして最後のシーンでは公園でタラちゃんと遊んであげている早川さんの姿がありました。この瞬間、一緒に見ていた奥さんと一緒に「ええ子やなあ～」と言葉を漏らしていました。

いまこの人に何と言ってあげれば喜ぶか、何をしてあげればうれしく思うか。みんなにもそんな気遣いができる人になってほしいと心から思います。**人を気遣うことができれば必ず人から気遣われる（大切にされる）こと**と信じています。